



令和4年度 白旗小学校「学校教育目標」

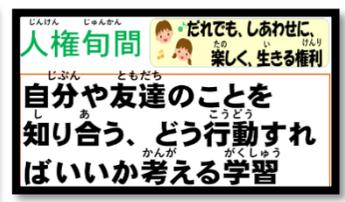
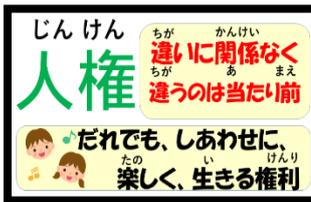


**ふるさとを愛し 夢に向かって、  
自ら学び続ける 児童の育成**

## お互いを大切にする子供たちへ～「人権旬間」の学びを日々の日常へ～

白旗小学校では、6/14～人権旬間を設定し、校長講話でスタート、その後、各学級で人権学習を行い、学んだことを人権集会で発表する取組を行いました。

校長講話では、「人権旬間では、白旗小学校のみんなが、幸せに・楽しくらしがができるよう、自分や友達を大切にするために、お互いのくらし・思いを知り合ったり、学校・学級でおきている問題等に対し、どう行動すればいいか考えたりしよう」と話をしました。

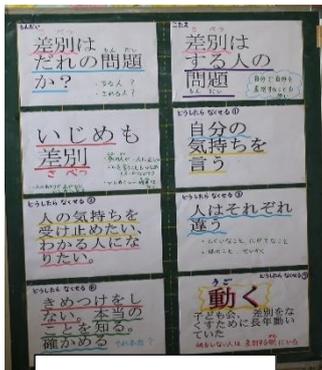


### 【人権集会の児童の発表の内容（一部）】

- ・「悪口を言わないようにすること」「本当かどうかを自分できちんと確かめること」が大切だと思いました。みんなも大切にしましょう。
- ・わたしも、みんなに「伝えたいもやもや」を発表しました。そしたら、みんなが、たくさんお返しをしてくれました。みんなが私の気持ちをわかってくれたのでうれしかったです。これからも、みんなに気持ちを伝えたいなと思いました。
- ・これから、自分の気持ちに素直になり、学校や家でも相談にのってもらえる人にはのってもらい、その分、自分も人の気持ちに気づいてあげられるような人になりたいと、学習を通して思いました。
- ・もし、自分がいじめにあたり見たりしたら、すぐにおうちの人や担任の先生に相談しようと思いました。ぼくに相談されたら、「いっしょに注意をしにいこうか。」とぼくは言おうと思いました。

その後、各学級で、教材をもとに、子供達に付けたい力や目標を考え、授業を行いました。

7/14（木）の人権集会（リモート）では、各学級の代表6名が、人権学習で学んだこと、自分で考えたことを伝えました。また、寺尾先生からも、子供達の発表を受け、「差別は、する人の問題であること」、「差別をなくすために、自分たちで考えて『動く』ことが大切」との話がありました。その後、各学級では感想を交流する時間を取り、思ったことや、これからどのように行動したらいいか考えたことを伝え合っていました。



寺尾先生の話



6年生の意見の様子

立てる（行動する）ことで、白旗小のみんなが、楽しく気持ちよく過ごしてほしいと思います。

今回の人権旬間の取組を通して学んだことを、自分たちのくらしに役

## 白旗小学校の「命の日の集会」



約25年前に、当時白旗小学校の1年生2名が、水の事故で亡くなるという悲しい出来事がありました。そのことを受け、白旗小学校では、1年に数回「命の日の集会」を実施しています。この集会の目的は、子供達が「自分・友達の命を大切にする」「命の尊さを実感すること」「自分の命は自分で守る行動をすること」です。7/12（火）は、今年2回目の「命の日の集会」で、寺尾先生、水本先生が子供たちの心に響く話をしてくれました。

夏になると、毎年、全国的にも水の事故で亡くなる子供たちが大勢います。本校は、用水路側を、毎日登校する子供たちも多くいます。大事な、大事な命を守ることに、ご家庭でもお子さんと話をしてもらえたらと思います。